

崛围山(jue wei shan)

吉田 想陶

3月に入り新学期がスタートしました。私の所属する初級班には新たにイタリア、カメルーン、カナダ、日本からの留学生が加わり、合計で9カ国の学生が在籍しています。さまざまな国から集まった学生達と一緒に語学を学ぶこの環境は、語学力の向上だけではなく、多様な文化や価値観と触れ合うことができます。違う考え方や違う習慣を吸収することで、もっと自身の見聞を広めたいと新たな節目を迎え感じました。

太原も段々と暖かくなり外に出ると開花した花や、芽吹いた木々から春らしさを感じます。今回のレポートでは、3月の終わり頃に訪れた、太原の呼延村(hu yan cun)という村にある崛围山(jue wei shan)を紹介したいと思います。呼延村は太原市の北西に位置し、山西大学からバスに乗って2時間程度の場所にあります。太原市のバスは料金が一定で、終点まで乗っても1元(日本円で15円程度)で行くことができ、遠くまで出かけるときは基本的にバスを利用します。しかし気をつけなければいけないのは、太原のバス停には時刻表がなく、路線によっては10分で来るものもあれば、30分に1本程度しか来ないものもあるという事です。私が乗ったのは後者の方で、「やっと来た」と思った矢先、バスを待っていた人々は一斉に走り出し、バスがまだ停車していないにもかかわらず入口には人が押し寄せ壮絶な座席争奪戦が繰り広げられていました。私はあつけにとられてしまい何もできませんでした。何とかバスに乗ることが出来ました。普段利用しているバスでは見たことが無い光景だったのでとても驚きました。

呼延村のバス停から少し歩くと、崛围山の麓に着き山を登り始めます。急な階段を上り続けると、山の上の方から叫んでいる人の声が聞こえてきました。何を叫んでいたのかは聞き取ることが出来ませんでした。山頂から何かを叫ぶというのはどこの国でも定番なのだと感じました。上ること約40分、山頂にある七級舍利塔(qi ji she li ta)という7階建ての塔に着きます。



(七級舍利塔の写真)

塔の高さは約25メートルで、周りでは多くの観光客が記念撮影をしながら山頂からの風景を楽しんでいました。



(山頂からの風景)

山頂からの風景は素晴らしく、暖かくなってきた今の季節に自然を楽しむには最適な場所です。太原からそれほど遠くなく、費用もあまり掛からないため山西省に来た際にはぜひ訪れていただきたいと思います。



(下山途中に撮った写真 遠くに見えるのが七級舍利塔)